

講義コード	11C0274800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	今泉 文子	開講期	第2期
科目名	ヨーロッパの文化と社会B／比較社会IB					今泉 文子		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	3年後の東京オリンピックをはじめ、ワールドカップなどのニュースに世間は湧き、人びとは自らプレーをし、観客となり、メディアを通じるなどして、日常的にスポーツを享受している。ヨーロッパ近代がその経済の展開とともに発展させたスポーツも、20世紀に入るとアメリカナイズされるなど、大きく変貌する。激動の20世紀から今日にいたるヨーロッパ社会のありようを、スポーツを切り口として講義する。								
到達目標	激動の20世紀のなかで変貌していくヨーロッパの姿を、スポーツやその他の文化、あるいは社会のありようから読み取り、身近な現象の基底に、そのときどきの経済関係があることを理解する。そのうえで身近な現象から<世界>について自ら考察する力を養う。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で紹介する書物はできるかぎり読み、視聴した映像は（時間の都合で全篇を観ることはできないので）、授業外で視聴することを勧める。上記に示した授業外の学修は、60時間を目安に行うこと。								
授業計画	【第1回】 イギリスの凋落とアメリカ・ドイツの発展 【第2回】 スポーツのアメリカナイゼーション 【第3回】 レガッタ、ツール・ド・フランス——東の間の繁栄 【第4回】 肉体と機械 【第5回】 「西部戦線異状なし」 【第6回】 「世界都市」——20年代ドイツ 【第7回】 雇用・メディア・フォルクスワーゲン 【第8回】 ベルリン・オリンピック「民族の祭典」 【第9回】 映像の世紀（1） 【第10回】 映像の世紀（2） 【第11回】 オリンピック——国家・経済・政治・企業・メディア 【第12回】 改めて「人間」とスポーツ 【第13回】 「ベルンの奇跡」サッカーと戦後復興 【第14回】 ミュンヘン・オリンピック 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験と授業内の小レポートによる。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーについては、翌週の授業の冒頭で講評をする。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	一定の教科書は使用せず、授業中に適宜、関連資料を配布する。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									